

令和4年度事業報告

I. 一般事項

1. 会員状況

令和4年度の会員状況は、次のとおりである。

会員種別	令和3年度末 会員数	入会数	退会数	増 減	令和4年度末 会員数	
正会員	130	5	2	3	133	
賛助会員	12	0	0	0	12	
特別会員	行政機関等	208	1	1	0	208
	学識経験者	50	0	1	△1	49
	小計	258	1	2	△1	257

2. 理事会

(1) 理事会決議（令和4年4月22日）

令和3年度事業報告の承認に関する件、令和3年度決算の承認に関する件、幹事会員選任議案に関する件、役員選任議案に関する件及び令和4年度通常総会に関する件につき、令和4年4月18日に会長から提案書を発出し、理事の全員から同意の、監事の全員から異議のない旨のそれぞれの意志表示が得られたので、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなした。

(2) 第1回理事会（第1回通常理事会）（令和4年5月19日）

ロイヤルパークホテル（東京都中央区）において開催し、令和4年3月18日から令和4年5月18日までの代表理事及び業務執行理事の職務執行状況に関する報告を行った。

(3) 第2回理事会（第1回臨時理事会）（令和4年5月19日）

ロイヤルパークホテル（東京都中央区）において開催し、会長、副会長等の選任に関する件について審議を行い、原案のとおり決議した。

(4) 第3回理事会（第2回通常理事会）（令和5年3月8日）

協会会議室において開催し、令和5年度事業計画及び収支予算の承認に関する件、特定費用準備資金等の見直しに関する件及び役員員の賠償責任保険契約の締結に関する件について審議を行い、原案のとおり決議した。また、令和4年5月19日から令和5年3月7日までの代表理事及び業務執行理事の職務執行状況に関する報告を行った。

3. 総会

通常総会（令和4年5月19日）

ロイヤルパークホテル（東京都中央区日本橋蛸殻町）において開催し、令和3年度決算の承認に関する件、幹事会員選任に関する件及び役員選任に関する件について審議を行い、原案のとおり承認した。

また、令和3年度事業報告並びに令和4年度事業計画及び収支予算に関する報告を行った。

4. 委員会活動

(1) 企画運営会議

企画運営会議（議長：国本 勇（株大林組）を次のとおり4回開催した。

1) 第1回（令和4年4月14日）

理事会決議（4/22）、令和4年度第1回理事会（5/19）及び第2回理事会（5/19）の議案等について審議し、書籍「省エネ改修の実例とその効果」の発行、セミナーの開催結果等に関して報告を行った。

2) 第2回（令和4年9月15日）

議長・副議長の選任、事業推進委員会委員の承認及び特定費用準備資金等の見直しについて審議し、セミナーの開催、ホームページのリニューアル等について報告を行った。

3) 第3回（令和4年12月8日）

令和5年度事業計画(素案)及び収支予算(骨格)及び第3回理事会の開催について審議し、ER作成者連絡会議に関する報告等を行った。

4) 第4回（令和5年2月16日）

令和5年度事業計画及び収支予算、特定費用準備資金等の見直し、役員の賠償責任保険契約の締結、代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告等について審議し、第32回BELCA賞の選考結果等について報告を行った。

(2) 事業推進委員会

委員会（委員長：中津 忠（榊大林組））を3回開催し、今後取り組むべき調査研究・技術開発のテーマを選定した。

また、事業推進委員会のメンバーを中心に、「新型コロナウイルスへの取り組み」をテーマとした勉強会を2回開催した他、2022年に竣工した日本初の高層木造耐火建築物「Port Plus」を見学した。

(3) アドバイザリー委員会

諸般の事情により、開催を見合わせた。

II. 令和4年度の事業概要

1. ロングライフ化に資する人材の育成

(1) 建築・設備総合管理士（ビルライフサイクルマネジャー）等の資格付与・登録

「建築・設備総合管理士」について、認定委員会（委員長：山本 康友 東京都立大学客員教授）及び講習委員会（委員長：南 一誠 芝浦工業大学名誉教授）の審議、手続きを踏まえ、「建築・設備総合管理士」資格取得講習を新型コロナウイルス感染予防に配慮しつつ、東京、大阪の2会場で開催し、受講者74名のうち60名を修了者として認定した。そのうち登録申請のあった51名を登録した。また、登録の有効期間（5年間）が経過する者に対する更新講習等により111名を登録した。

また、「建築・設備総合管理技術者」から「建築・設備総合管理士」への移行申請のあった1名を「建築・設備総合管理士」として登録した。

これらの結果、令和4年度末の「建築・設備総合管理士」、「建築・設備総合管理士補」及び「建築・設備総合管理技術者」資格登録者総数は1,002名となった。

区 分	受講者数	修了者数	登録者数
資格取得講習	74名	60名	51名
更新講習等	111名	111名	111名
移行申請	—	—	1名

(2) 建築仕上診断技術者の資格付与・登録

「建築仕上診断技術者（ビルディングドクター〈非構造〉）」について、認定委員会（委員長：坂本 功 東京大学名誉教授）及び講習委員会（委員長：近藤 照夫 ものづくり大学名誉教授）の審議、手続きを踏まえ、「建築仕上診断技術者」資格取得講習を新型コロナウイルス感染予防に配慮しつつ、東京、大阪、福岡の3会場で開催し、受講者163名のうち122名を修了者として認定した。そのうち登録申請のあった104名を登録した。また、登録の有効期間（5年間）が経過する者に対する更新講習等により796名を登録した。

これらの結果、令和4年度末の「建築仕上診断技術者」資格登録者総数は4,806名となった。

区 分	受講者数	修了者数	登録者数
資格取得講習	163名	122名	104名
更新講習等	796名	796名	796名

(3) 建築設備診断技術者の資格付与・登録

一般財団法人日本建築設備・昇降機センターと共同で資格付与している「建築設備診断技術者（ビルディングドクター〈建築設備〉）」について、認定委員会（委員長：鎌田 元康 東京大学名誉教授）及び講習委員会（委員長：川瀬 貴晴 千葉大学名誉教授）の審議、手続きを踏まえ、「建築設備診断技術者」資格取得講習を新型コロナウイルス感染予防に配慮しつつ、東京、大阪の2会場で開催し、受講者84名のうち74名を修了者として認定した。そのうち、登録申請のあった72名を登録した。また、登録の有効期間（5年間）が経過する者に対する更新講習等により389名を登録した。

これらの結果、令和4年度末の「建築設備診断技術者」資格登録者総数は2,629名となった。

区 分	受講者数	修了者数	登録者数
資格取得講習	84名	74名	72名
更新講習等	389名	389名	389名

(4) 資格者に対するフォローアップ

1) BELCA Letter

資格登録後の技術の維持・向上に資するため、情報誌「BELCA Letter」のVol. 47を令和4年7月に、Vol. 48を令和5年1月に発行した。

2) BELCA 資格者セミナー

BELCA資格者等に対して、技術の維持・向上及び業務展開に役立つ情報を提供するため、BELCA資格者セミナー「ウェルネスオフィスの動向－生産性向上のための健康・快適なオフィスやその感染対策－」を開催した。

講演内容 講師	ウェルネスオフィスの動向 －生産性向上のための健康・快適なオフィスやその感染対策－ 林 立也 先生（千葉大学大学院准教授）
開催地	東京
開催日	令和5年3月15日
参加者	27名

(5) 認定ファシリティマネジャー資格試験及び資格試験対策講座の開催

認定ファシリティマネジャー資格試験（公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会、一般社団法人ニューオフィス推進協会と共催）を、令和4年5月28日から6月5日にかけて学科試験、7月2日に論述試験を行うことにより実施した。

その結果、776名が受験し、340名がファシリティマネジャーとして認定された。

また、令和4年4月から東京で2コースの認定ファシリティマネジャー資格試験対策講座（一般社団法人ニューオフィス推進協会と共催）を開催し、79名が受講した。

(6) 次代を担う人材の育成

建築物のロングライフ化に資する研究支援事業のあり方について検討を行った。

また、建築・設備・不動産に係る企業の次代を担う若手社員等を対象とした以下のセミナーを開催した。

1) 若手社員等向けセミナー「建物のライフサイクルと維持保全」（配信セミナー）

書籍「建物のライフサイクルと維持保全」を用いた、建物のロングライフのために設計段階、運用段階で留意すべき事項等について基本的な知識を解説するセミナーを開催した。

講演内容 講師	建物のライフサイクルと維持保全 ～建築設計の実務者の視点から～ 鈴木 聡 (株)日建設計)
	建物のライフサイクルと維持保全 ～建物管理の実務者の視点から～ 窪田 豊信 (日本管財株)
開催地	Web 配信セミナー
配信期間	令和4年10月24日～11月30日
参加者	19名

- 2) 若手社員等向けセミナー「メンテナンス段階の不具合事例とよりよい維持保全に必要な原則～設計・施工段階でやるべきこと、やってはいけないこと～」(配信セミナー)
より良いメンテナンスのために設計・施工段階で留意すべき事項についての基礎的な知識をわかりやすく解説するセミナーを開催した。

講演内容 講師	よりよいメンテナンスのために建物所有者がやるべきこと 木下 雄介 (東京建物株)
	メンテナンス段階での不具合を起こさないために～不具合事例とその対策～ 山本 義夫 (株)東急コミュニティー)
開催地	Web 配信セミナー
配信期間	令和4年10月24日～11月30日
参加者	17名

2. ロングライフ化の推進に必要な調査研究・技術開発及び情報発信

(1) 調査研究・技術開発

1) 書籍「コンバージョン ―実績と展望―」の作成

最近のコンバージョンの事例を収集するとともに、今後の動向を展望した書籍をとりまとめた。

2) 書籍「(仮題) ライフサイクルを通じた維持保全における情報管理のあり方」の作成

情報収集、学識経験者に意見照会を実施し、作成に向けた検討を行った。検討結果は、書籍「建物の維持保全に関する情報管理のすすめ」(令和5年5月刊行予定)として取りまとめた。

3) 書籍「―不動産リスクマネジメントのための―エンジニアリング・レポート(ER)ハンドブック Q&A)」の改訂

エンジニアリング・レポートの普及啓発のために平成29年に発行した「―不動産リスクマネジメントのための―エンジニアリング・レポート(ER)ハンドブック Q&A)」を改訂した。

4) 書籍「タイル外壁及びモルタル塗り外壁定期的診断マニュアル」の改訂

外壁の定期的診断業務において基準書として活用されている「タイル外壁及びモルタル塗り外壁定期的診断マニュアル」について、平成21年の前回改訂以降の法令改正等を踏まえた改訂を行った。

5) ビルのライフサイクルコスト構成比の再検討

平成25年以来となるモデルオフィスビルにおけるライフサイクルコストの試算を行い、会員向けに公開した。

6) 国土交通省総合技術開発プロジェクト「既存杭の撤去と宅地擁壁の耐震性能に関する基礎情報整理業務」の事務局運營業務受託

国土交通省国土技術政策総合研究所より事務局運營業務を受託し、委員会の運営支援を行った。

7) 国土交通省総合技術開発プロジェクト「住宅・建築物の性能評価等に係る実態の基礎的収集業務」他計2件の事務局運營業務受託

国土交通省国土技術政策総合研究所より事務局運營業務を受託し、委員会の運営支援を行った。

- 8) 国土交通省国土技術政策総合研究所「建築基準法改正に資する中層大型木造建築物の火災安全上の課題と対策技術の整理業務」の事務局運營業務受託
国土交通省国土技術政策総合研究所より事務局運營業務を受託し、委員会の運営支援を行った。

(2) 情報発信

1) 機関誌「BELCA NEWS」による情報発信

編集委員会(委員長:小松 幸夫 早稲田大学名誉教授)を4回開催し、次のとおり機関誌 BELCA NEWSを発行するとともに、会員、関係団体、報道機関等に配布した。

号数	主な内容	
179号	刊行年月	令和4年4月
	特集	予知保全によるビルのロングライフ化
	トップ・ オピニオン	・(株)地区計画コンサルタンツ 代表取締役 山口 孝明 ・スカイエステート(株)(現 楽天ドローン(株)) 代表取締役 青木 達也
	会員コーナー	・(株)新井組
180号	刊行年月	令和4年7月
	特集	既存ビルのZEB化に向けて
	トップ・ オピニオン	・(株)ユニオンリサーチ 代表取締役 小笠 博幸 ・(株)ユキ商事 代表取締役 松下 幸生
	会員コーナー	・日本メックス(株)
181号	刊行年月	令和4年10月
	特集	建物改修とリノベーションまちづくり
	トップ・ オピニオン	・戸田建設(株) 代表取締役社長 大谷 清介 ・東京不動産管理(株) 代表取締役社長執行役員 興水 秀一郎
	会員コーナー	・日本建築検査協会(株)
182号	刊行年月	令和5年1月
	特集	既存ビルのウェルネスオフィス化に向けて
	トップ・ オピニオン	・マンション共同検査機構(株) 代表取締役社長 鈴木 直斗 ・日建設計コンストラクション・マネジメント(株) 代表取締役社長 水野 和則
	会員コーナー	・サンシャインシティ・ビルマネジメント(株)

2) 調査研究・技術開発の成果図書による情報発信

調査研究・技術開発の成果として、次の図書を刊行した。

発行年月	書籍名
令和5年3月	「コンバージョン ー実績と展望ー」

3) セミナー等による情報発信

建物のロングライフ化に関する情報提供のため、新型コロナウイルス感染防止に配慮しつつ、次のセミナーや講習会を開催した。

①BELCA 会員の新技术等の説明会「ドローンを用いた建築物の調査」

スカイエステート(株)(現 楽天ドローン(株))のドローンビジネススクールにて、「ドローンを用いた建築物の調査」の実際についての説明とドローン実機の操縦を行う体験会をした。

講演内容	「ドローンを用いた建築物の調査」
講師	佐伯 拓也・森田 実実(スカイエステート(株)(現 楽天ドローン(株)))
開催日	令和4年5月24日
会場	ドローンビジネススクール東京校船堀飛行場
参加人数	33名

- ②WEB セミナー「～新たなニーズに対応した～オフィスビルの戦略的な改修企画 2022」（配信セミナー）
 オフィスビルの戦略的な改修企画における最新の考え方について、具体的な改修事例を交えて解説するとともに、テキスト出版後の最新改修事例を紹介するセミナーを開催した。

講演内容 講師	戦略的な改修の考え方、新たなトレンドを踏まえた改修事例 丹羽 勝巳（㈱日建設計）
開催方法	Web 配信セミナー
配信期間	令和4年5月30日～7月15日
参加人数	31名

- ③WEB セミナー「～今知っておきたい～省エネ改修の実例とその効果出版セミナー」
 令和4年3月に発行した「省エネ改修の実例とその効果」をテキストとし、省エネ改修の実例とその効果について解説するセミナーを開催した。

講演内容 講師	「効果的な省エネ企画の方法と改修事例」 丹羽 勝巳（㈱日建設計）
開催方法	Web 配信セミナー
配信期間	令和4年5月30日～7月15日
参加人数	45名

- ④WEB セミナー「～診断、保全業務時の抑えるポイントがわかる～建築設備システム診断要領」
 診断を行う上での重要なポイントを書籍記載の評価表の説明と共に解説するセミナーを開催した。

講演内容 講師	建築設備システム診断要領の概説と改訂内容 横手 幸伸（㈱建築診断センター）
	電気設備分野の診断、保全業務時確認すべき重要な点 島末 紀之（㈱きんでん）
	空気調和設備分野の診断、保全業務時確認すべき重要な点 加藤 豊（㈱ゆたか技術士事務所）
	給排水衛生設備分野の診断、保全業務時確認すべき重要な点 横手 幸伸（㈱建築診断センター）
	診断補助ソフトの使い方 （公社）ロングライフビル推進協会 開発研究部
開催方法	Web 配信セミナー
配信期間	令和4年8月1日～9月1日
参加者	8名

- ⑤セミナー「アフター／ウィズコロナの都市の姿」
 新型コロナウイルスが建築・都市にもたらした影響を考察し、コロナ禍後の建築・都市を展望するセミナーを開催した。

講演内容 講師	「アフター／ウィズコロナの都市の姿」 中川 雅之（日本大学経済学部 教授）
開催日	令和4年8月9日
会場	AP 浜松町
参加者数	38名

- ⑥若手社員等向けセミナー「建物のライフサイクルと維持保全」（配信セミナー）（再掲）
 書籍「建物のライフサイクルと維持保全」を用いた、建物のロングライフのために設計段階、運用段階で留意すべき事項等について基本的な知識を解説するセミナーを開催した。

講演内容 講師	建物のライフサイクルと維持保全 ～建築設計の実務者の視点から～ 鈴木 聡（㈱日建設計）
	建物のライフサイクルと維持保全 ～建物管理の実務者の視点から～ 窪田 豊信（日本管財㈱）
開催地	Web 配信セミナー

配信期間	令和4年10月24日～11月30日
参加者	19名

⑦若手社員等向けセミナー「より良い維持保全のために～設計・施工段階でやるべきこと、やってはいけないこと～」(配信セミナー)(再掲)

より良いメンテナンスのために設計・施工段階で留意すべき事項についての基礎的な知識をわかりやすく解説するセミナーを開催した。

講演内容 講師	よりよいメンテナンスのために建物所有者がやるべきこと 木下 雄介 (東京建物株)
	メンテナンス段階での不具合を起こさないために～不具合事例とその対策～ 山本 義夫 (株東急コミュニティー)
開催地	Web 配信セミナー
配信期間	令和4年10月24日～11月30日
参加者	17名

⑧説明会「水害に関する対策・BCP等の取り組み」

深刻な影響が懸念されている水害について、先進的な取り組み事例を紹介する説明会を開催した。

講演内容 講師	「大手町フィナンシャルシティグランキューブ」 水上 康生 (三菱地所株)
	「Brillia Tower 聖蹟桜ヶ丘 BLOOMING RESIDENCE」 幸地 浩一郎 (東京建物株)
	「志木市役所新庁舎」 多々良 邦弘 (株佐藤総合計画)
	小幡 俊行 (株佐藤総合計画)
開催日	令和4年11月29日
会場	BELCA 会議室
参加人数	18名

⑨セミナー「ビルと大地震」

大地震への備え、BCP、長周期地震対策等を取りまとめた書籍「ビルと大地震」(令和2年4月刊)をテキストとして、ビルと大地震の関係を解説するセミナーを開催した。

講演内容 講師	福山 洋 ((国研)建築研究所)
	増田 幸宏 (芝浦工業大学)
	黒川 泰嗣 (鹿島建設株)
開催日	令和5年2月20日
会場	AP 浜松町
参加人数	32名

⑩セミナー「建築物のライフサイクルマネジメント用データ集を用いた長期修繕計画策定演習セミナー」

令和2年3月に改訂した書籍「建築物のライフサイクルマネジメント用データ集」を用いて、データの活用方法を解説し、長期修繕計画の策定を演習するセミナーを開催した。

講演内容 講師	建築物のライフサイクルマネジメント用データ集と長期修繕計画 山本 英雄 (大成建設株)
	長期修繕計画の策定手順 谷津 博邦 (清水建設株)
	長期修繕計画策定演習 山本 英雄 (大成建設株) 谷津 博邦 (清水建設株)
開催地	東京
開催日	令和5年2月21日、3月9日
参加者	各20名

⑪「令和4年度維持保全計画作成講習会」

令和2年7月に改訂した「建築・設備維持保全計画の作り方（新訂2版）」を用いて、維持保全計画を作成する際の要点や活用事例を解説し、計画の中で特に重要な実施体制や点検計画の作成等の演習を行う講習会を開催した。

講演内容 講師	ライフサイクルマネジメントと維持保全 窪田 豊信（日本管財株）		
	維持保全計画の構成と作成方法 窪田 豊信（日本管財株） 佐藤 哲（東京建物株）		
	維持保全計画の事例 佐藤 哲（東京建物株）		
	維持保全計画の作成演習 市川 圭太（ダイケンエンジニアリング株）		
開催地	東京	東京（2回目）	大阪
開催日	令和4年11月1日	令和5年3月3日	令和5年3月23日
参加者	10名	16名	15名

⑫資格者セミナー「ウェルネスオフィスの動向-生産性向上のための健康・快適なオフィスやその感染対策-」

健康維持・増進のための「ウェルネス」とオフィスの関係、その評価方法等について解説するセミナーを開催した。

講演内容 講師	「ウェルネスオフィスの動向」、「感染対策チェック、改修検討チェック等のウェルネス性評価」 林 立也（千葉大学）		
開催日	令和5年3月15日		
会場	A P 浜松町		
定員	27名		

4) ホームページによる情報提供

BELCA 資格、BELCA 賞、書籍、セミナー、協会の概要等の情報をホームページに掲載し、協会活動の周知を図った。また、トップページの刷新を図った。

3. ロングライフ化を助長するための表彰・評価

(1) BELCA 賞の表彰

選考委員会（委員長：三井所 清典 芝浦工業大学名誉教授・株アルセッド建築研究所 代表取締役）において、第32回 BELCA 賞として、長年にわたり適切に維持保全している模範的な建築物（ロングライフ部門）を2件、優れた改修を実施した模範的な建築物（ベストリフォーム部門）を8件選定し、BELCA NEWS やホームページへの掲載、メディアへの公表を行い、周知した。なお、第31回 BELCA 賞の表彰式は令和4年5月19日にロイヤルパークホテル（東京都中央区）で開催した。

1) ロングライフ部門

建築物名	所在地
ディッフェンドルフアー記念館（東棟）	東京都三鷹市
ホンダ青山ビル	東京都港区

2) ベストリフォーム部門

建築物名	所在地
大倉集古館	東京都港区
熊本城天守閣	熊本市
千葉大学墨田サテライトキャンパス	東京都墨田区
中部電力 MIRAI TOWER (名古屋テレビ塔)	名古屋市
日本武道館	東京都千代田区
弘前れんが倉庫美術館	青森県弘前市
万葉公園 湯河原惣湯 Books and Retreat 玄関テラス	神奈川県足柄下郡湯河原町
立誠ガーデン ヒューリック京都	京都市

(2) ロングライフ化に資する技術等の評価

1) 優良補修・改修工法等評価事業の実施

委員会（委員長：坂本 功 東京大学名誉教授）において赤外線画像解析技術「スマートタイルセイバー」を「優れている」と評価した。

また、「ハイブリッドクイック工法 (D's ハイブリッドクイック工法)」の「特に優れている」とする評価及び「ニュークイック [HORICON] 工法」の「優れている」とする評価をそれぞれ更新した。

なお、これらの工法等については、機関誌 BELCA NEWS、ホームページ、セミナー等で周知を行った。

2) 公営住宅最適改善手法評価事業の実施

委員会（委員長：吉田 倬郎 工学院大学名誉教授）で1団地1棟について、耐震性、構造安全性、避難安全性、居住性、事業性等から全面的改善事業としての適否について評価を行った。

3) 耐震改修計画評定事業の実施

耐震改修計画については東京委員会（委員長：北山 和宏 東京都立大学教授）で7棟の評定を行った。

4. ロングライフ化を推進するための共益事業等

(1) 会員向けの情報提供・会員情報の発信

ホームページにおいて、会員のビルのロングライフ化に関する取り組みをまとめた「会員ページ」、新技術・新事業等説明会の開催結果、診断実施会員リスト及び補修・改修実施会員リスト等の会員情報を発信した。ホームページ内に設けた「正会員専用ページ」においては機関誌 BELCA NEWS のバックナンバーの掲載を、「エンジニアリング・レポート作成者連絡会議専用ページ」においてはエンジニアリング・レポート作成者連絡会議の活動の情報提供を行った。

「BELCA 会員名簿 2022~2023」を発行するとともに、BELCA NEWS のトップ・オピニオンや会員コーナーで会員の活動を情報発信した。また、次の展示会において、補修や改修に関する会員のパンフレットを配布するなど、会員の情報を発信した。

名称	主催	開催期間
第26回 リフォーム&リニューアル建築再生展 2022	建築再生展実行委員会	令和4年6月15日~17日
第24回不動産ソリューションフェア	(株)ビル経営研究所	令和4年11月29日~30日

(2) エンジニアリング・レポート (ER) の品質の確保と普及

ER 作成技術及び ER の品質の向上等のため、ER 作成者連絡会議において全体会議、幹事会、分科会等で情報収集、研修に努めるとともに、今後の ER の活用・普及のための活動方策について検討した。

1) 全体会議

全体会議（議長：土佐林 忠史 (株)シティエボリューション）を1回開催し、令和3年度活動報告の承認及び幹事の選任を行った。また、「アフター／ウィズコロナの都市の姿」と題する講演会（再掲）

の開催に協力した。

2) 幹事会

幹事会（幹事長：土佐林 忠史（株シティエボリューション）を3回開催し、ER作成者連絡会議の活動計画及び活動報告の作成、技術委員会委員等の選任、全体会議の企画等に関する調整を行った。

3) 普及委員会

委員会（委員長：織田 雄洋（株東京建築検査機構）を3回開催するとともに、ERハンドブックQ&Aの改訂作業等に協力した。その他、ERを分かり易く説明するパンフレットを作成・公開した。

なお、8月9日の幹事改選等により、委員長が島本正男様（株シミズ・ビルライフケア）から織田雄洋様に交代した。

4) 技術委員会

建物状況調査分科会を3回、建物環境・土壌汚染リスク評価分科会を2回（それぞれ合同分科会の開催含む）、地震リスク評価分科会を1回開催し、情報収集・意見交換を行った。また、水害リスク評価検討ワーキンググループを3回開催し報告書を作成した。

その他、公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会のeラーニングの講演内容作成等の協力を行った。

(3) 耐震診断評定事業の実施

耐震診断については名古屋委員会（委員長：小濱 芳朗 名古屋市立大学名誉教授）で22棟の評定を行った。

(4) マンション定期診断の周知

マンションの定期的な診断の普及を図るため、BELCAが定める登録基準を満たす正会員2社を「マンションドック」として登録し、BELCAホームページや展示会等で周知した。